

商品安全 検査センターから

2013年微生物検査のまとめ

今回は、2013年1年間の
微生物検査の概要をご報告します。

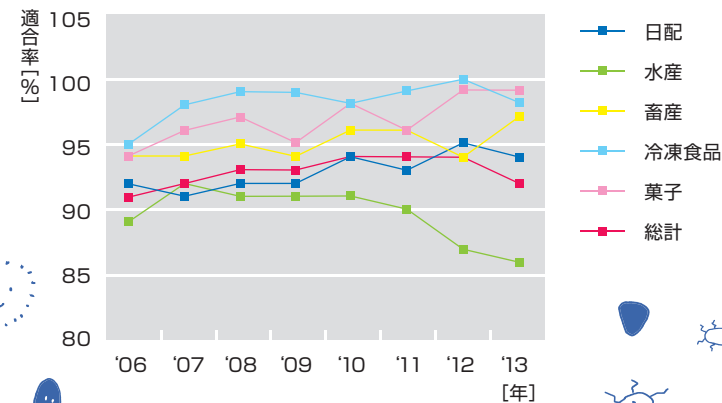
検査センターでは、組合員の皆さんに衛生的な商品をお届けできているかを確認するために、商品の微生物検査を行っています。2013年の検査の内容は表の通りです。主に共同購入、店舗でご利用いただいているものと同じ商品を抜き取り、年間1万以上の検査を行っています。検査の工程を見直し、商品数を増やすなどして衛生監視のレベルが下がらないようにしています。

検査分類	総計[件]
共同購入定期検査	7,186
店舗定期検査	1,928
年末迎春検査	363
依頼検査	430
クリーム検査	41
新規検査	114
その他検査	348
総計	10,410



微生物検査は主に、細菌や真菌（酵母、カビ）の検査を実施。衛生状態を評価する衛生指標菌、食中毒の原因になる食中毒菌を調べています。

共同購入では定期的に、傷みやすい商品（日記・水産・畜産）を中心に検査サンプルをとり実施しています。生協の厳しい自主基準に適合している割合は、グラフの通りです。基準に適合しないものについては原因を究明し、関係先と協力して対応しています。



また店舗の刺身、惣菜などは月1回の定期検査と、随時、検査センター職員による抜き取り検査を実施しています。
今年も商品検査を通して、組合員の皆さまに安心して商品をご利用いただけるよう、品質の監視をしていきます。

2013年度 第10回理事会だより

3 / 12

① 2月期決算について承認しました

2月度事業結果 単位: 百万円

	2月実績	計画比(%)	累計実績	計画比(%)
商品の供給高	2,361	99.6	23,484	97.5
総事業高	2,431	99.5	24,245	97.6
事業経費	475	95.6	5,178	97.5
経常剰余金	62	146.7	214	120.7

組合員数 221,483名 計画比99.5% (加入757名)
出資金 38億9,141万円 一人当たり出資金17,570円

② 議案項目の確認がされました

6月10日(火)に開催される第16回通常総代会の議案項目の確認がされました。併せて「役員選任規約」並びに「監事監査規則」の改訂、理事・監事候補者の確認がされ、当日の議案として議決されます。

③ 2014年度の方針、予算及び上半期機構体制について確認されました

④ 事業関連事項

商品案内の消費税増税に伴う税込み価格の表記の改善として、税込み価格の文字を大きくする事が確認されました。食品の商品案内は5月2週から、スマイルは5月5週から改善予定です。

⑤ 機関・組織運営関連事項

① 2014年第1回総代会議のまとめについて確認しました。

② 2014年度の福祉活動助成基金の助成団体の選考結果について報告があり確認しました。2014年度は9団体に2,253,976円が助成されます。

③ 山梨市の地域見守り活動「地域見守りネットワーク事業」の参加要請に基づき、3月10日に協定書の調印式を行った事を確認しました。



東京電力福島第一原発事故による風評被害が、被災事業者の再建を阻む大きな要因の1つになっています。
農水畜産業者は、国が定めた厳しい検査基準を満たしているにも関わらず「宮城県産は残留放射能不検出（ND）でも扱わない」として取引停止に遭うなど、苦境が続いています。
宮城県の調査では、水産加工業者の約7割、一般栽培農業者の約6割が「風評被害があった」と回答しています。被災した水産加工業の6割は、震災前よりも売上げが減少しており、風評被害が事業再建を二層困難なものにしていることがわかります。
沿岸・沖合の水産物への影響も大



阿部富士夫さん



中央の島の向こうに銀ガケ養殖場がある

きく、なかには震災前の半額以下で取引されている魚もあります。宮城県漁協志津川支所の阿部富士夫さんは「震災前は1キロ450円だった銀ガケが、震災後は250円。371円の採算ラインを割る単価で推移しています。今年からエサ代が一気に上がるので、最低1キロ500円を超えないと銀ガケ養殖業自体が無くなる可能性もあります」と危機感を抱いています。

※数値は宮城県「宮城県の風評被害の現状と調査結果についてー概要版ー」（平成24年9月14日）、東北経済産業局「グループ補助金交付先アンケート調査」（平成25年9月）より。

また、水揚げした魚介類は毎朝、魚市場で放射性物質検査を行い、「いずれも残留放射能不検出なので安心して食べられるのですが、風評の影響で他の産地に市場を奪われたものもあります」と阿部さんは実情を話します。
被災地の事業者は、「3年経ったのだから」と支援からの自立を求められています。また自ら、懸命な努力をしているにも関わらず、風評はその努力をも無にしてしまうものとなっています。

2014年 3月15日「おたがいさま東部」が発足しました



利用者さん
応援者さん 募集中!

「おたがいさま東部」は誰もが安心して暮らせ、住んでいて楽しくなる地域づくりを応援する「有償のたすけあいシステム」です。活動のエリアは、東濃5市と可児市、美濃加茂市、可児郡、加茂郡です。くらしの中のちょっとした困りごとを気軽に助け合い、「おたがいさま」と言えるつながりを大切にします。
応援内容は食事づくりや産前産後の手伝いなどの家事応援、子どもの遊び相手などの育児応援、外出や通院の付き添いなどの介助応援、そのほか着付けや畑の手伝い、草刈りなどさまざま。
「困ったな」「助けて欲しいな」と思ったら、まずはお電話下さい。コーディネーターが相談をお受けしています。また「何かお役に立ちたい」と思っておられる方、「あなたのできること」で参加しませんか？

お問い合わせ 多治見市旭ヶ丘10-6-100 コープぎふ多治見支所内
おたがいさま東部事務所 [電話 080-5812-5208、月～金曜日10～16時]



第6回

3・11を忘れない
みやぎ生協から
被災地・宮城のいまをお伝えします

コープぎふは、
東日本大震災の復興対策に
継続して取り組んでいます

